

オーストラリア薬学語学研修

3年次生 上田 彩華

● 期間 2023年3月6日~3月16日(11日間)

● 訪問都市 オーストラリア キングスクリフ

● 研修先 North Coast TAFE Kingscliff Campus

[研修プログラム]

平日は TAFE と呼ばれる職業訓練専門学校に通い、午前中は English class、午後は Pharmacy class で授業を受けました。

English class

担当してくださった Phillip 先生の授業は楽しく、ビーチでの安全に関する授業の後には、持ってきてくださっていたサーフボードに実際に乗ってみたり、別の日には、紅茶やコーヒーの作り方を英語で学び、その後に実践をしたりしました。日本のことが好きな先生だったので日本語を少し話してくれたり、英語を話す時でも私たちがわかるようにゆっくり喋ってくれたりしたのでわかりやすくとても楽しいクラスでした。

異文化授業 (アボリジニ)

オーストラリアの先住民の方に文化や昔の生活について教えていただきました。魚を捕まえるための道具を教えてください、一緒に作りました。どの国でも生きるために工夫して過ごしていたと感じました。



English クラスでの体験



アボリジニの授業

Pharmacy class

薬学のクラスではオーストラリアの薬局の事情や薬剤師に関してなどを教えていただきました。日本と同じだと感じる部分もありましたが、異なる点もあり大変勉強になりました。

日本でも薬剤師や登録販売者がいたり、また薬には区分があり、薬剤師しか売れない薬があるように、オーストラリアでも薬剤師の他に薬剤師をアシストする方がいたり、薬に区分があつたりと日本とオーストラリアの共通点を知ることができました。

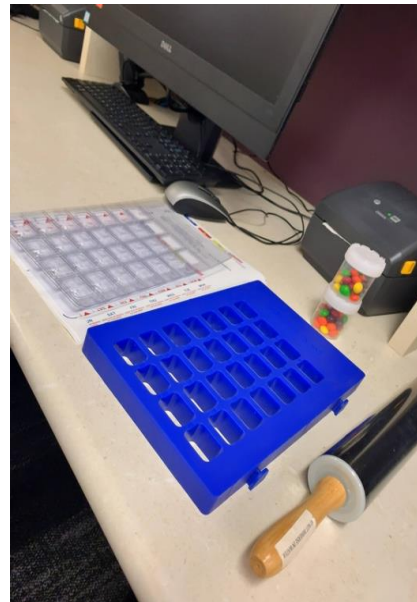
日本でも最近電子処方箋が利用されるようになりましたが、オーストラリアでは全土で電子処方箋になっており、スマートフォンにメールでバーコードを受けとりそれを見せることで薬が受け取れる仕組みになっているようです。日本ではまだ進んでない技術がオーストラリアにあることを知りました。

また、ある日には現地の薬学部がある大学にも訪問しました。そこではコロナウイルスがどのような構造であるかをVRで見ることができました。日本ではそのような経験をしたことがなかったので最先端だと感じました。

他には薬の一包化を体験させてもらいました。日本でも薬の一包化が行われていますが、オーストラリアでは分包機や分包紙はなく、下の写真にあるように専用の容器に入れて行くそうです。



VRで見えているコロナウイルス

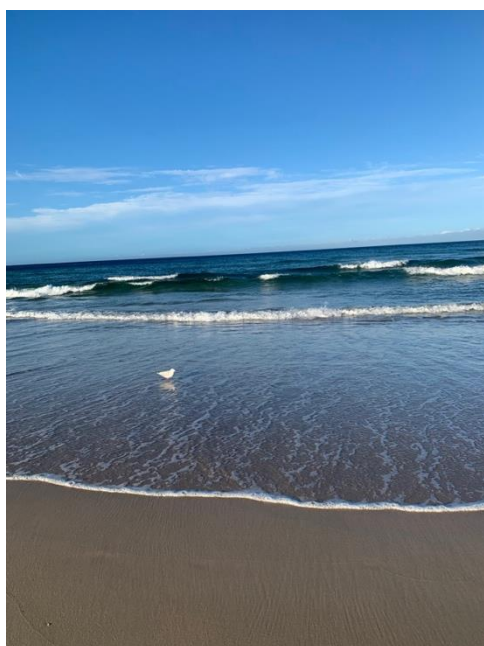


一包化体験

ホームステイ

私は1人でホームステイをしたので心細かったですが、ホストマザーが放課後にショッピングに連れて行ってくださったり、一緒にプールに入ったり、家の近くのビーチに散歩に出かけたりでき、有意義な時間を過ごすことができました。

また週末にはショッピングモールや動物園に行って過ごしました。動物園ではコアラを抱っこしたり、カンガルーや鳥に餌やりをしたりしました。日本ではできない経験ができて楽しく過ごすことができました。



ホームステイ先近くのビーチ



動物園で鳥の餌やり体験

最後に

私はこの研修で積極的に行動することを学びました。留学をするのは初めてだったので不安や緊張がありましたが、オーストラリアについては自分で会話をしていかないといけないので、コミュニケーションをとるために自分からオーストラリアのことについて質問をしてみるといった自分から話すことを心がけて過ごしました。そのおかげで少しは積極的に行動できるようになったと感じます。オーストラリアでの経験は私にとってかけがえのないものとなりました。この経験を活かし、将来に向けて努力していきたいと思えます。

最後になりますが、国際交流基金の助成により貴重な経験をさせていただきました。このような機会を与えてくださったこと、この研修で支えてくださった方々に感謝いたします。ありがとうございました。